



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 横浜冷凍株式会社 上場取引所 東
コード番号 2874 URL <https://www.yokorei.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古瀬 健児
問合せ先責任者 (役職名) 取締役広報IR部長 (氏名) 岡田 洋 TEL 045-210-0011
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績（2025年10月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	33,332	△1.3	2,193	21.1	2,086	145.4	1,209	799.7
2025年9月期第1四半期	33,758	3.6	1,811	5.5	850	△49.6	134	△89.3

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 2,691百万円 (295.9%) 2025年9月期第1四半期 679百万円 (△40.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	20.51	—
2025年9月期第1四半期	2.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年9月期第1四半期	215,748	84,399	38.3	1,400.18
2025年9月期	209,034	82,417	38.6	1,368.24

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 82,602百万円 2025年9月期 80,718百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2026年9月期	—	—	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	58,000	13.5	2,450	△19.5	2,350	6.0	1,550	7.7	26.27
通期	118,000	△6.0	4,800	13.3	4,600	25.7	3,000	51.6	50.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期1Q	59,266,684株	2025年9月期	59,266,684株
② 期末自己株式数	2026年9月期1Q	272,676株	2025年9月期	272,414株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期1Q	58,994,154株	2025年9月期1Q	58,933,011株

当第1四半期末において、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式162,100株を自己株式に含めています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、当社グループを取り巻く経済状況、事業環境、他社との競合、自然災害、金利等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結キャッシュ・フロー計算書関係)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2025年10月1日～2025年12月31日)における我が国の経済は、雇用・所得環境が改善する下でインバウンド需要の増加等もあり、景気は緩やかな回復基調で推移しております。一方、不安定な国際情勢を背景とした原材料価格・エネルギー価格の高騰および世界的な金融政策の不確実性による影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、最終年度となりました新・中期経営計画(第Ⅱ期)「繋ぐ力」に基づき、冷蔵倉庫事業では「積み重ねてきた高品質な物流で国内外の課題を解消し、お客様へスマートコールドサービスを提供」、食品販売事業では「国内外の生産者とのネットワークを活かし、目利き力により旬や美味しさをお客様へ」を方針とし、事業運営方針の各施策に取り組んでいます。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高33,332百万円(前期比1.3%減)、営業利益2,193百万円(前期比21.1%増)、経常利益2,086百万円(前期比145.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,209百万円(前期比799.7%増)となりました。

(冷蔵倉庫事業)

当第1四半期連結累計期間は、前期から引続き旺盛な冷蔵倉庫需要による取扱量の増加等により増収増益となりました。

直近2期間で新たに稼働した国内5カ所、ベトナム1カ所、計6カ所の物流センターなどの減価償却費負担および人件費等の増加により利益の下押し要因はありましたが、主に冷凍食品の取扱いが増加し、入庫量、出庫量、在庫量すべてにおいて前期を上回ったほか、料金改定交渉も進み、増収増益となりました。

連結子会社のタイヨコレイにおいては、入庫量、出庫量は若干減少しましたが、それらを上回る前期からの高水準の在庫率を維持したこと、国内と同様に料金改定交渉も進めていることにより、増収増益となりました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績は、売上高10,535百万円(前期比7.9%増)、営業利益2,707百万円(前期比7.4%増)となり、第1四半期連結累計期間としては冷蔵倉庫事業セグメントの過去最高益を更新することができました。

(食品販売事業)

当第1四半期連結累計期間は「量から質」への転換を掲げ、利益率重視の事業構造への転換を進め、低採算取引の見直しや在庫管理の徹底を通じて、在庫回転率の向上による在庫圧縮等により売上高は減少しましたが、利益率が大幅に向上し減収増益となりました。

水産品のうち、サバについては、ノルウェー産サバは価格高騰により取扱いは減少しましたが、九州では引き続き豊漁で取扱量が増加し、増収増益となりました。ホタテについても、海外からの引き合いの増加により売上、利益ともに順調に推移し、増収増益となり、水産品全体では減収増益となりました。

畜産品のうち、チキンは低採算取引の見直しや効率化により、売上高は減少したものの、増益となりました。ポークにおいても減収となりましたが、利益はほぼ前年並みに推移しました。ビーフにおいては引き続きホテル筋からの引き合いが増え、増収減益となり、畜産品全体では減収増益となりました。

農産品は、昨夏の高温障害により収穫量および取扱量が減少しましたが、主力のイモ類を筆頭に利益確保に努め、農産品全体では増収増益となりました。

以上の結果、食品販売事業の業績は、売上高22,789百万円(前期比5.0%減)、営業利益682百万円(前期比111.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6,713百万円増加し、215,748百万円となりました。これは主に、有形固定資産が5,120百万円、受取手形及び売掛金が2,262百万円増加したこと、投資有価証券が608百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ4,732百万円増加し、131,349百万円となりました。これは主に、その他(設備関係電子記録債務及び設備関係未払金)が4,491百万円、支払手形及び買掛金が855百万円、繰延税金負債が776百万円増加したこと、借入金が2,775百万円減少したこと等によるものです。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,981百万円増加し、84,399百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、前連結会計年度末に比べ227百万円増加の3,495百万円となりました。当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,767百万円の資金の増加(前年同四半期は4,683百万円の資金の減少)となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益2,242百万円、減価償却費2,155百万円、仕入債務の増加額855百万円等による資金の増加と、売上債権の増加額2,245百万円等の資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、320百万円の資金の増加(前年同四半期は3,101百万円の資金の減少)となり、その主な内容は投資有価証券の売却による収入2,255百万円等による資金の増加と、有形固定資産の取得による支出2,274百万円等の資金の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,652百万円の資金の減少(前年同四半期は8,558百万円の資金の増加)となり、その主な内容は金融機関からの借入の純減額2,911百万円、配当金の支払額712百万円等の資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の連結業績予想につきましては、「2025年9月期 決算短信」(2025年11月13日付)で公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,659	3,891
受取手形及び売掛金	13,318	15,580
商品	14,461	14,142
前渡金	381	659
短期貸付金	1,031	789
その他	1,416	1,306
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	34,253	36,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	75,103	74,136
機械装置及び運搬具（純額）	12,261	11,937
土地	31,251	31,305
リース資産（純額）	388	375
建設仮勘定	3,565	9,913
その他（純額）	989	1,011
有形固定資産合計	123,559	128,680
無形固定資産		
その他	3,174	3,157
無形固定資産合計	3,174	3,157
投資その他の資産		
投資有価証券	43,256	42,648
長期貸付金	4,296	4,463
長期未収入金	6,609	6,997
繰延税金資産	2	1
退職給付に係る資産	434	405
その他	987	986
貸倒引当金	△7,540	△7,949
投資その他の資産合計	48,046	47,553
固定資産合計	174,780	179,390
資産合計	209,034	215,748

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,882	5,737
短期借入金	13,591	11,980
1年内返済予定の長期借入金	5,541	5,408
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
リース債務	106	106
未払法人税等	256	787
賞与引当金	724	152
役員賞与引当金	47	12
役員報酬B I P信託引当金	—	95
その他	4,664	10,510
流動負債合計	39,814	44,791
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	68,897	67,866
リース債務	315	301
繰延税金負債	999	1,776
役員報酬B I P信託引当金	95	—
債務保証損失引当金	4,466	4,696
退職給付に係る負債	164	122
資産除去債務	623	627
その他	1,239	1,166
固定負債合計	86,801	86,558
負債合計	126,616	131,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,303	14,303
資本剰余金	14,427	14,427
利益剰余金	41,917	42,417
自己株式	△227	△227
株主資本合計	70,420	70,920
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,597	9,768
繰延ヘッジ損益	13	16
為替換算調整勘定	891	1,117
退職給付に係る調整累計額	794	779
その他の包括利益累計額合計	10,297	11,681
非支配株主持分	1,699	1,797
純資産合計	82,417	84,399
負債純資産合計	209,034	215,748

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	33,758	33,332
売上原価	29,563	28,648
売上総利益	4,195	4,684
販売費及び一般管理費	2,384	2,490
営業利益	1,811	2,193
営業外収益		
受取利息	42	108
受取配当金	113	84
保険配当金	29	31
為替差益	—	64
貸倒引当金戻入額	22	—
その他	101	129
営業外収益合計	308	418
営業外費用		
支払利息	183	241
デリバティブ評価損	311	206
為替差損	680	—
その他	95	77
営業外費用合計	1,269	526
経常利益	850	2,086
特別利益		
投資有価証券売却益	274	156
特別利益合計	274	156
税金等調整前四半期純利益	1,124	2,242
法人税、住民税及び事業税	673	757
法人税等調整額	301	244
法人税等合計	975	1,002
四半期純利益	149	1,239
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	134	1,209

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	149	1,239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	332	1,170
繰延ヘッジ損益	281	2
為替換算調整勘定	△88	292
退職給付に係る調整額	4	△14
その他の包括利益合計	530	1,451
四半期包括利益	679	2,691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	646	2,593
非支配株主に係る四半期包括利益	33	97

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,124	2,242
減価償却費	1,878	2,155
賞与引当金の増減額(△は減少)	△500	△571
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	11	△34
貸倒引当金の増減額(△は減少)	701	409
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	463	230
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14	—
退職給付に係る資産・負債の増減額	—	△17
受取利息及び受取配当金	△155	△192
受取手数料	△0	—
支払利息	183	241
デリバティブ評価損益(△は益)	311	206
投資有価証券売却損益(△は益)	△274	△156
売上債権の増減額(△は増加)	△5,078	△2,245
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,614	359
前渡金の増減額(△は増加)	△505	△278
仕入債務の増減額(△は減少)	2,180	855
未払費用の増減額(△は減少)	725	390
その他	623	316
小計	△1,912	3,910
利息及び配当金の受取額	117	196
手数料の受取額	0	—
利息の支払額	△76	△132
法人税等の支払額	△2,812	△207
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,683	3,767
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	285	—
有形固定資産の取得による支出	△3,390	△2,274
有形固定資産の売却による収入	0	2
無形固定資産の取得による支出	△30	△25
投資有価証券の取得による支出	△682	△1
投資有価証券の売却による収入	414	2,255
投資有価証券の償還による収入	407	200
貸付けによる支出	△1	△2
貸付金の回収による収入	41	285
投融資の純増減額(△は増加)	※2 △85	※2 △111
その他	△61	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,101	320
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,489	△1,732
長期借入金の返済による支出	△1,189	△1,178
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△711	△712
その他	△30	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,558	△3,652
現金及び現金同等物に係る換算差額	△57	△207
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	715	227
現金及び現金同等物の期首残高	3,161	3,268
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	206	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 4,083	※1 3,495

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
現金及び預金勘定	4,093百万円	3,891百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△10	△396
現金及び現金同等物	4,083	3,495

※2 投融資の純増減額

特定の海外取引先との取引について、契約内容の経済的実態を踏まえて金融取引として処理している取引の純増減額であります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,760	23,990	8	33,758	-	33,758
セグメント間の内部売上高 又は振替高	575	-	14	590	△590	-
計	10,335	23,990	23	34,348	△590	33,758
セグメント利益	2,521	322	10	2,854	△1,043	1,811

(注) 1.セグメント利益の調整額△1,043百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,535	22,789	7	33,332	—	33,332
セグメント間の内部売上高 又は振替高	516	—	17	534	△534	—
計	11,052	22,789	25	33,866	△534	33,332
セグメント利益	2,707	682	14	3,403	△1,210	2,193

- (注) 1.セグメント利益の調整額△1,210百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。